

主な併用禁忌薬

次のお薬を使用している方は、バルデナフィル錠「FCI」を服用しないでください。

抗不整脈薬の一般名
アミオダロン塩酸塩
キニジン硫酸塩水和物
ジソピラミド
シベンゾリンコハク酸塩
ソタロール塩酸塩
ピルメノール塩酸塩水和物
プロカインアミド塩酸塩
ジソピラミドリン酸塩
可溶性 Guanidyl 酸シクララーゼ (sGC) 刺激剤の一般名
リオシグアト
抗真菌薬の一般名
イトラコナゾール
硝酸剤の一般名
亜硝酸アミル
一硝酸イソソルビド
硝酸イソソルビド
ニコランジル
ニトログリセリン
ニトロプルシドナトリウム水和物
ニブラジロール
抗ウイルス薬の一般名
アタザナビル硫酸塩
エルビテグラビル・コビスタット・エムトリシタピン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
エルビテグラビル・コビスタット・エムトリシタピン・テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩
ダルナビル エタノール付加物
ダルナビル エタノール付加物・コビスタット
ダルナビル エタノール付加物・コビスタット・エムトリシタピン・ テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
ホスアンプレナビルカルシウム水和物
リトナビル
ロピナビル・リトナビル

※記載されているお薬は一般的な名称です。それぞれの製品名については、最新情報をインターネット等で検索・確認してください。
医薬品医療機器情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)



富士化学工業株式会社
Fuji Chemical Industries Co., Ltd.

2022年6月

バルデナフィル錠「FCI」の正しい使い方について

この冊子にはバルデナフィル錠「FCI」に関する大切な注意事項が書いてあります。バルデナフィル錠「FCI」を正しく安全に使用していただくために、服用前に必ず最後までお読みください。また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

このお薬について

バルデナフィル錠「FCI」は、性行為をおこなうのに十分な勃起とその維持ができない患者さんのための勃起不全治療薬です。

以下の点について、医師に十分話されましたか？

- ◆ あなたの症状
- ◆ 過去および現在のほかの病氣
- ◆ 服用中の薬

バルデナフィル錠「FCI」は性的刺激があった時、自然な勃起を助ける薬です。飲み方を誤ると重大な副作用があらわれることがありますので、この冊子に記載された注意事項をご理解の上、正しくご使用ください。質問や分からないことがある場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

安全に使用していただくために

- ◆ バルデナフィル錠「FCI」の服用は**1日1回**とし、次の服用は必ず**24時間以上**あけてください。
- ◆ このお薬は性行為の約1時間前に服用してください。
- ◆ 特に高齢の方や肝臓の悪い方は、医師の指示を守って服用してください。
- ◆ **医師の指示なしに、自分の判断で量を増やさないでください。**
- ◆ 薬の効果には個人差があります。もし、指示された量で効果が得られない場合には、医師または薬剤師にご相談ください。
- ◆ **狭心症などの心臓病によく用いられるニトログリセリンなどの硝酸剤を使用している方はバルデナフィル錠「FCI」を絶対に使用しないでください。**
過度に血圧が下降し、場合によっては死に至るおそれがあります。
硝酸剤には、飲み薬だけでなく、舌下錠、貼り薬、吸入薬、注射、塗り薬、スプレーなどもあります。ご自身のお薬をもう一度ご確認ください。
あなたがお使いの薬に硝酸剤が含まれていないかどうか医師または薬剤師にご相談ください。

もし、バルデナフィル錠「FCI」の服用後に発作が起きたら
発作の治療を受ける際には、必ずバルデナフィル錠「FCI」を『服用している
こと』『服用した時間』を医師にお伝えください。

- ◆狭心症の発作が起きた場合は、その場で安静にし、直ちにかかりつけ医に連絡してください。発作の治療を受ける際には、『バルデナフィル錠「FCI」を『服用していること』と、『いつ(何時に)服用したか』を医師にお伝えください。
- ◆一般に性行為は心臓に負担をかけますので、今まで狭心症と診断されたことがない方でも、狭心症の発作を起こす場合があります。
- ◆一般に狭心症の発作の治療には硝酸剤がよく使われますが、バルデナフィル錠「FCI」を服用している場合は、血圧を下げる働きが増強され、過度に血圧が下降するおそれがあります。そのため、発作の治療に硝酸剤が使用できず、他の薬を使用する場合があります、その際には硝酸剤と同じ効果が得られないことがあります。
- ◆発作発生時に、ご本人が医師に伝えられない場合もありますので、パートナー、ご家族にもあらかじめバルデナフィル錠「FCI」を服用していることを伝え、救急医療機関を受診する際には、医師などに「バルデナフィル錠を服用していること」が必ず伝わるようにしてください。

つぎの方は、このお薬を服用できません

- ◆硝酸剤による治療を受けている方
- ◆以前に、バルデナフィル錠「FCI」および同じ成分(バルデナフィル)を含むお薬を服用してアレルギー(過敏症)を起こしたことのある方
- ◆心血管系障害などにより医師から性行為を控えるよう指導されている方
- ◆先天的に不整脈がある方、現在、抗不整脈薬を使用中的方
- ◆最近6カ月以内に脳梗塞・脳出血や心筋梗塞を起こしたことのある方
- ◆重い肝障害のある方
- ◆血液透析が必要な腎障害のある方
- ◆低血圧の方(安静時収縮期血圧が90mmHg未満)、または治療による管理がなされていない高血圧の方(安静時収縮期血圧が170mmHgより高い、または安静時拡張期血圧が100mmHgより高い)
- ◆不安定狭心症の方
- ◆リオングアト、抗ウイルス薬、抗真菌薬(外用剤を除く)を使用中的方
- ◆網膜色素変性症(進行性の夜盲、視野狭窄)の方

つぎの方は、服用の際に注意が必要です

- 必ず医師または薬剤師にご相談ください。
- ◆肝臓の病気のある方
 - ◆血液の病気のある方(鎌状赤血球性貧血、多発性骨髄腫、白血病など)
 - ◆血が止まりにくい病気のある方
 - ◆胃・十二指腸潰瘍のある方
 - ◆陰茎の病気(屈曲、しこりなど)または奇形のある方
 - ◆他のPDE5阻害薬または他の勃起不全治療剤・勃起補助器具を使用している方、手術を受けたことがある方

つぎの副作用があらわれたらご相談ください

- 一般的に薬を服用すると、時に副作用が出る場合があります。バルデナフィル錠「FCI」を服用して次のことに気がついたら、本剤の使用を中止し、すぐに専門の医師(泌尿器科、眼科)の診察を受けてください。
- ◆4時間以上勃起が続く。(早急に治療しないと陰茎が損傷し、勃起機能を失うことがあります。)
 - ◆薬の服用後、急激に目が見えづらくなった。

また、バルデナフィル錠製剤によって、以下の副作用の報告があります。こうした症状の他にも気になる症状がある場合には、服用を中止し、医師または薬剤師にご相談ください。

- ◆ 頭痛
- ◆ 顔が赤くなる(ほてり)
- ◆ 消化不良
- ◆ はきけ
- ◆ 鼻づまり
- ◆ 動悸
- ◆ 物が青く見えたり、まぶしく見える

α遮断薬(排尿障害や高血圧の治療薬)と一緒に服用することで、「めまい」や「立ちくらみ」などが起こるおそれがあります。高所での作業、自動車運転等の危険を伴う機械を操作するときは、十分ご注意ください。

その他の注意事項

- ◆このお薬は医師の処方が必要なお薬です。
- ◆**バルデナフィル錠「FCI」をほかの人に譲らないでください。**バルデナフィル錠「FCI」の服用は、必ず医師の診断のもとに処方を受ける必要があります。あなたに処方されたバルデナフィル錠「FCI」を、絶対に他の人に渡してはいけません。その人が性行為を行うことが好ましくない心臓の病気にかかっていたり、バルデナフィル錠「FCI」と一緒に飲むと影響のあるお薬を処方されている場合もあり、大変危険です。
- ◆性行為は心臓に負担をかけます。無理をしないようにしましょう。
- ◆ほかの診療科、医療機関を受診されるときは、バルデナフィル錠「FCI」を服用していることを申し出てください。ほかの病気やほかの薬に悪い影響を及ぼす場合があります。
- ◆バルデナフィル錠「FCI」には、性行為感染症を防ぐ効果はありません。
- ◆バルデナフィル錠「FCI」は、催淫剤や性欲増進剤ではありません。バルデナフィル錠「FCI」服用後も、性的刺激のない状態では勃起しません。性的刺激を受けてはじめて勃起し、性的刺激が中止されれば(性行為が終了すれば)勃起はおさまりません。なお、勃起が4時間以上続いている場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- ◆冷暗所に湿気を避けて保管してください。
- ◆誤って飲んでしまう恐れがあるため、子供の手の届かないところに保管してください。
- ◆この冊子に記載した症状以外にも、副作用があらわれることがあります。異常を感じた際は服用を中止して、医師または薬剤師にご相談ください。